

## い〜なんメディカフェ

8月11日(火)祝



普段の仕事や取組について意見を交わしました

町内の医療機関・福祉施設等で就労を希望する学生や医師等を対象に、地元の医療従事者等と意見交換を行うイベント「い〜なんメディカフェ」を開催しました。

今年度から飯南病院で勤務を始めた看護師や、町内福祉施設で働く技能実習生が活動を発表。グループごとの意見交換では、働き始めて感じたこと、先輩からのアドバイスなどを真剣な表情で語り合いました。

今後も情報交換の機会を持ち、医療・福祉従事者の確保対策に取り組みます。

## コンポスト出前講座を実施

8月18日(火)



簡易な組み立てキットで手軽に始められます

「脱炭素のまち」を推進する本町では、脱炭素への取組の一環としてコンポストの設置を進めています。

コンポストの普及を図るため、出前講座を実施しました。参加者は、環境問題やゴミ処理の現状について説明を受けた後、コンポストキットを作成。完成したコンポストは持ち帰り、各家庭で活用されます。

本講座は、ごみの分別意識を高め、生ごみの減量化に繋げる取組として継続する予定です。キット在庫が無くなり次第、受付を終了します。

問 住民課 76・2213

## J-クレジットに関する連携協定を締結

8月19日(水)



左から(株)バイウィル 前田哲志 執行役員、塚原町長、(株)山陰合同銀行 友田耕生 常務執行役員

J-クレジットの創出、販売の取組推進を目的として、飯南町と(株)山陰合同銀行、(株)バイウィルは、J-クレジットを活用したカーボンニュートラルに関する連携協定を締結しました。

連携協定を結ぶことで、両社の知見を活かし、より一層のJ-クレジット創出、販売に取り組めます。

●(株)バイウィル

東京都に本社を置き、J-クレジット創出など脱炭素に取り組む団体などを支援する企業。環境価値を社会に循環させることを目指す。

## 保育所のあり方に関する意見を聞く会

8月5日(水)～24日(月)



保育所が抱える課題や提言書の内容を説明

「飯南町保育所あり方検討委員会」の提言書を受け、町内4会場で、保護者や地域の皆さんの意見を聞く会を開催しました。

保育士不足が続く中、安全で丁寧な保育を提供するためには、保育所設置数の見直しが必要であるとする提言書の内容などについて説明しました。

参加者からは、送迎の負担を懸念する声や、保育所の統合で友達が増えるといった声など、様々な意見が寄せられました。

町は、保護者や地域の皆さんの意見を参考に、今後の方針を検討していきます。

## 志々小閉校イベント第1弾を開催

8月13日(土)～15日(土)

志々小は来年3月末をもって閉校を迎えることとなりました。閉校に伴い組織された志々小学校閉校行事実行委員会では、志々地区住民と連携したさまざまなイベントを企画しています。

第1弾として、お盆期間に校舎の開放を実施。連日多くの卒業生や関係者などが来校し、教室を見学しながら思い出話に花を咲かせました。

閉校までの間、地域や学校と協力し、歴史ある志々小の記録を残すよう取り組んでいきます。

今後、実施予定の閉校行事は次のとおりです。

- ★9月26日(土) 合同体育大会
- ★10月24日(土) 学習公開日
- (学習公開終了後に、55年前のタイムカプセルを開封します)
- ★11月14日(土) 学習発表会
- ★3月20日(土) 閉校式

★の日程は、志々小の校舎内を見学できます。各イベントの詳細は町ホームページでご確認ください。

問 志々小学校閉校行事実行委員会 (事務局・志々支所) 73・0001



町ホームページ



児童が作成したふるさと教育のパネルも展示されました



緑の外壁が印象的な志々小

## 二十歳のつどい

8月15日(土)



20歳を祝い笑顔で記念撮影

平成17年4月2日から平成18年4月1日まで生まれた人を対象に「飯南町二十歳のつどい」を開催しました。

式典には15人が出席。来賓祝辞、記念品受領の後、代表者が誓いの言葉を述べました。

式典後の交流会では、中学校の恩師も加わり、ゲームで盛り上がる一幕も。出席者は久しぶりの再会を楽しみ、むととともに、これからの抱負などを語り合いました。



代表として誓いの言葉を述べる原涼成さん



和やかな雰囲気交流会